

続・ふるさと こぼれ話

ハツ木若狭劇場③(最終回)

若狭劇場では、映画以外にも、後に浪曲歌謡で有名になる「岸壁の母」の二葉百合子シヨを楽団付きで興行したり、近所の歌上手に呼びかけて、のど自慢大会などを開いたりしていた。

時がたち、若狭さんが50歳半ばの東京オリンピックのころから、テレビの普及の影響で映画客が急激に減り始めた。若狭さんは思い切って若狭劇場を閉館して、建築業に専念することにした。

若狭さんの仕事ぶりは独特で有名だった。普段は3、4人の職人を抱えて仕事をしていたが、急ぎの仕事が頼まれると、その人徳と外交力を生かし

第65回

て、助っ人職人をすぐに数人手配しては注文の期日までに仕上げしてしまうのである。手早であつても手抜きはなく、ほかの大工と比べて3割ほど仕事が早く「飛行機大工の若狭」と呼ばれるようになった。

若狭さんの仕事も頼まれた。旧家の仕事も頼まれた。大きな入母屋作りの家屋も数多く手がけた。

若狭さんは、先見性と飛行機大工の行動力、面倒見の良さが買われ、昭和30年3月から50年4月の5期20年にわたり町議会の議員を務め上げた。

体が丈夫で仕事好きの若狭さんは、こまごました大工仕事を頼まれては、90歳を過ぎてても仕事を続けていた。

若狭周作さんは明治45年6月に生まれ、平成17年10月に93歳で亡くなった。時代劇映画のように波乱万丈の人生だった。

「テレビは時代劇と歌番組しか見ないよ」が口癖だった。

若狭周作さんの時代劇への思いが宿っている若狭劇場も建築から55年以上がたち傷んではいるが、跡継ぎの息子さんが現役の建築作業小屋として現在でも使っている。



▲若狭周作さん(70歳ごろ)



しまたがしの芳賀の自然

17



ヤマキマダラヒカゲ チョウ目ジャノメチョウ科
 (写真提供=芳賀町自然に親しむ会)撮影場所:日光湯の滝付近
 分布=本州~九州の山地
 生息地=亜高山帯までの雑木林
 時期=5月~9月(年2回発生)
 食性=イネ科のメダケなど
 大きさ=開張(羽を広げた最大値)60~65mm
 特性=山地性のチョウで裏表とも茶褐色を基調とした斑模様で地味な感じ。夏型の雌は黄色斑点が少なく地味で大きい。平地ではよく似た別種のサトキマダラヒカゲが生息している。

編集後記

□8月、夏真っ盛り。暑いですがねえ。今月は30日に衆議院議員総選挙が行われます。8月の衆院選は、107年ぶりのこと。投票票:暑い中:がんばらねば:。大切な選挙です。皆さんも必ず投票に行きましょう。

□また、23日には、赤羽有紀子さんが出場する世界陸上女子マラソン(ベルリン)が行われますね。皆さんで赤羽さんの活躍を期待しましょう。

(Y)



▲芳賀町ロマン花火(昨年)

■編集 芳賀町広報広聴委員会
 ☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
 ■発行 芳賀町企画課
 栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
 ■芳賀町ホームページアドレス
<http://www.town.haga.tochigi.jp>



☎芳賀町の携帯サイトはコチラから➔